

作目：露地ユリ類

生育ステージ	気象条件	要因	高温により発生が懸念される障害・被害	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報	技術開発の取組状況
球根植付け～ 発らい期 （適温範囲： 10～25℃）	高温・乾燥時	生育・生理	発根の不良	高温下では根の発生が抑制される	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *3	対策なし		*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf	
			着生花蕾数の減少、 奇形花、花落ち	高温下で発生すること以外不明	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須） *1 *2 定植後の遮光 *1	対策なし	品種間差が大きい	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf	
			切り花長・切り花重の 減少	球根からの養分転流量の不足 発根量の不足	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *1 *3 *4	対策なし	品種間差が大きい	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf *4: https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/flower-summer.html	
			葉焼け症状	カルシウム不足、伸長速度の過大、急激な温度・湿度 の変化が想定されているが、詳細は不明	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 高温期には過度な大球を用いない *1 遮光 *1 カルシウム剤の散布 *5 *6	対策なし	カルシウム剤の効果は限定的である	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *5: https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shikenkenkyuu/documents/13_9.pdf *6: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010611439.pdf	
		病虫害	ハダニ	害虫の寄生	薬剤散布・散水	薬剤散布			
	高温・多湿時	生育・生理	発根の不良	高温下では根の発生が抑制される	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *3	対策なし		*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf	
			着生花蕾数の減少、 奇形花、花落ち	高温下で発生すること以外不明	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須） *1 *2 定植後の遮光 *1	対策なし	品種間差が大きい	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf	
			切り花長・切り花重の 減少	球根からの養分転流量の不足 発根量の不足	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *1 *3 *4	対策なし	品種間差が大きい	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf *4: https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/flower-summer.html	
			葉焼け症状	カルシウム不足、伸長速度の過大、急激な温度・湿度 の変化が想定されているが、詳細は不明	ブレーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 高温期には過度な大球を用いない *1 遮光 *1 換気 *1 *5 カルシウム剤の散布 *5 *6	対策なし	カルシウム剤の効果は限定的である	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *5: https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shikenkenkyuu/documents/13_9.pdf *6: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010611439.pdf	
		病虫害	葉枯病	病原菌の感染	薬剤散布	薬剤散布			

作目：露地ユリ類

生育ステージ	気象条件	要因	高温により発生が懸念される障害・被害	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報	技術開発の取組状況
発らい期～収穫 （適温範囲：15～25℃	高温・乾燥時	生育・生理	切り花長・切り花重の減少	球根からの養分転流量の不足 発根量の不足	プレルーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *1 *3 *4	対策なし	品種間差が大きい 発蕾後の強遮光は光合成産物の蓄積を阻害し、品質が低下する	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf *4: https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/flower-summer.html	
		病虫害	オオタバコガ（蕾の食害）	害虫の飛来	薬剤散布	薬剤散布			
	高温・多湿時	生育・生理	切り花長・切り花重の減少	球根からの養分転流量の不足 発根量の不足	プレルーティング処理後の定植（高温期には必須）*1 *2 定植後の遮光 *1 *3 *4	対策なし	品種間差が大きい 発蕾後の強遮光は光合成産物の蓄積を阻害し、品質が低下する	*1: https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/74750.pdf *2: https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030771992.pdf *3: https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/f_jizoku-31.pdf *4: https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyo-navi/flower-summer.html	
		病虫害	オオタバコガ（蕾の食害）	害虫の飛来	薬剤散布	薬剤散布			
			ハダニ	害虫の寄生	薬剤散布・散水	薬剤散布			